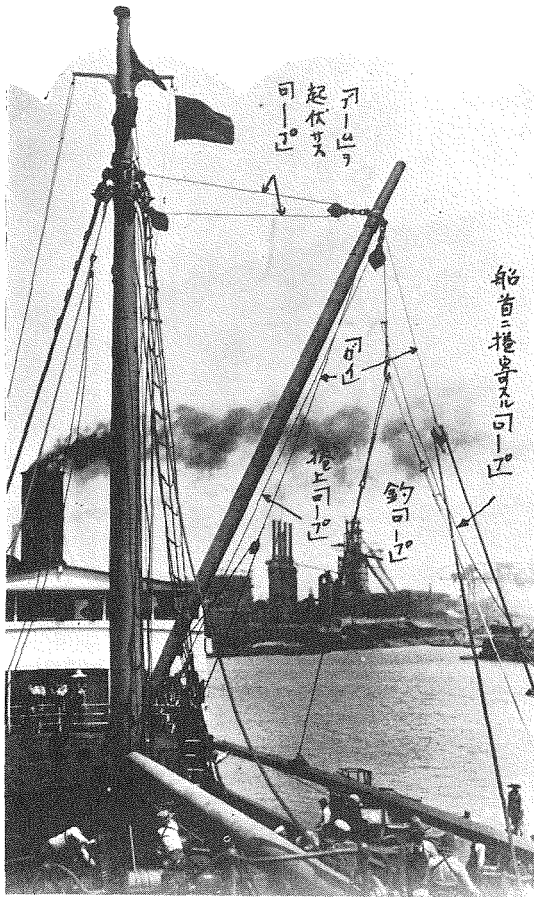


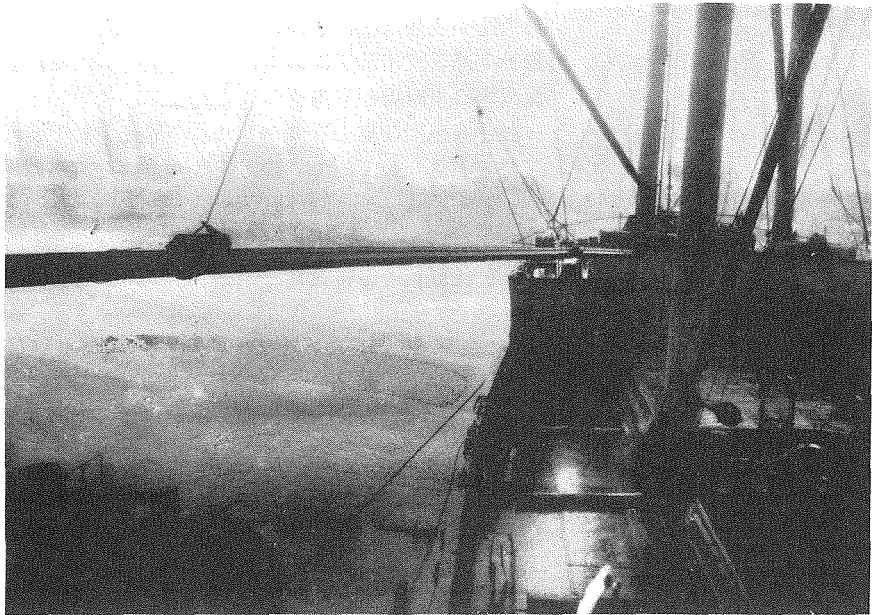
長尺軌條の輸送と更換作業 其二

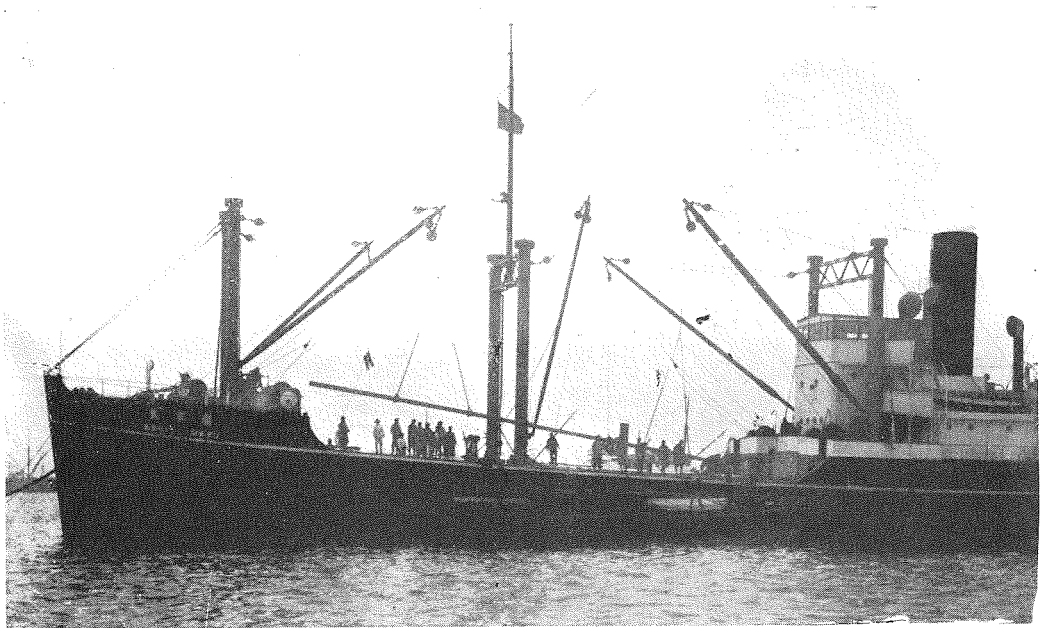
鐵道省工務局
保線課



9 八幡港に於ける船積、24米50疋軌條5本束(約6噸)を捲き上げてゐる。ブーム1本を使用即ちシングルデリックで荷役せるもの、寫眞に書き込んである様にガイを左右に張つてブームを横に移動せしめない様にして、マスト上方に引きつけたロープでブームを起伏せしめ、又マストの根元に引き付けたロープの端のフックに吊ロープを正三角形に張つて懸け軌條束を吊上げてゐる。この方法で24米軌條一本につき一分間位の速度で荷役を了へた。

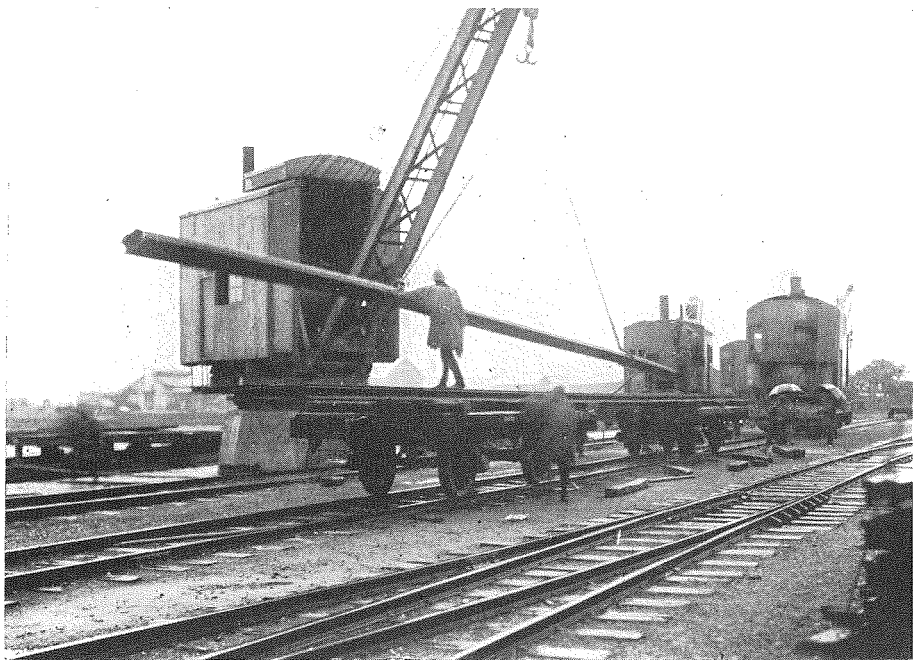
10 八幡港で24米50疋軌條束を兩端から6米の點で吊り上げ、舳から近海郵船康寧丸甲板に移さんとする光景。

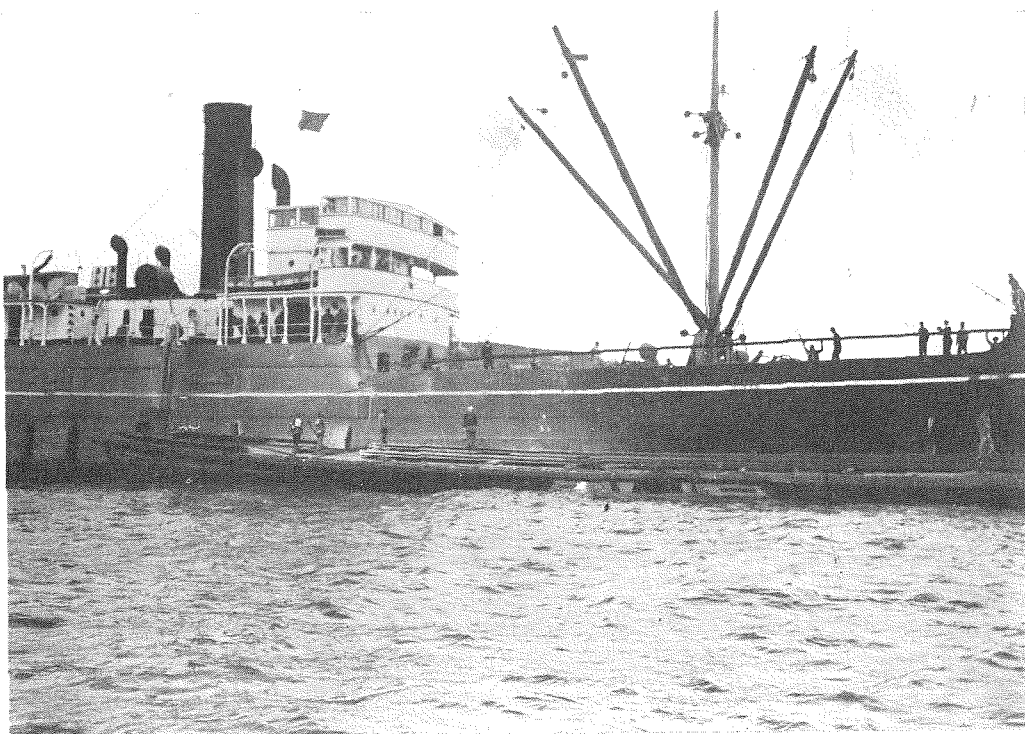




11 八幡港から横濱港についた康寧丸。24米37秆軌條5本束を、舢につりとつてゐる光景。昭和七年九月

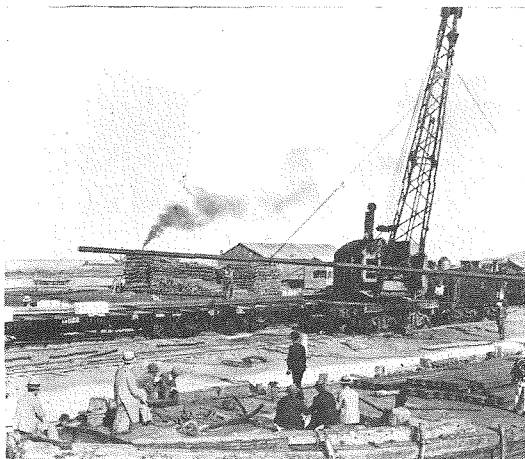
12 同上、横濱港で舢から貨車に積込んでゐる光景。二十四米三十七秆軌條五本束のまゝである。



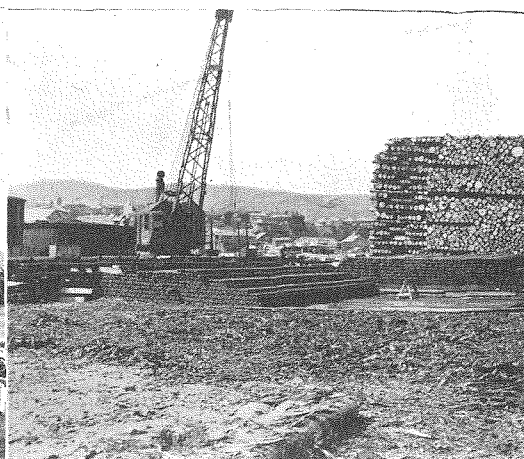


13 八幡港から小樽港に到着した甲陽丸から、舢に釣り取つてゐる光景。起重機の具合が横濱の場合と多少違ふ。

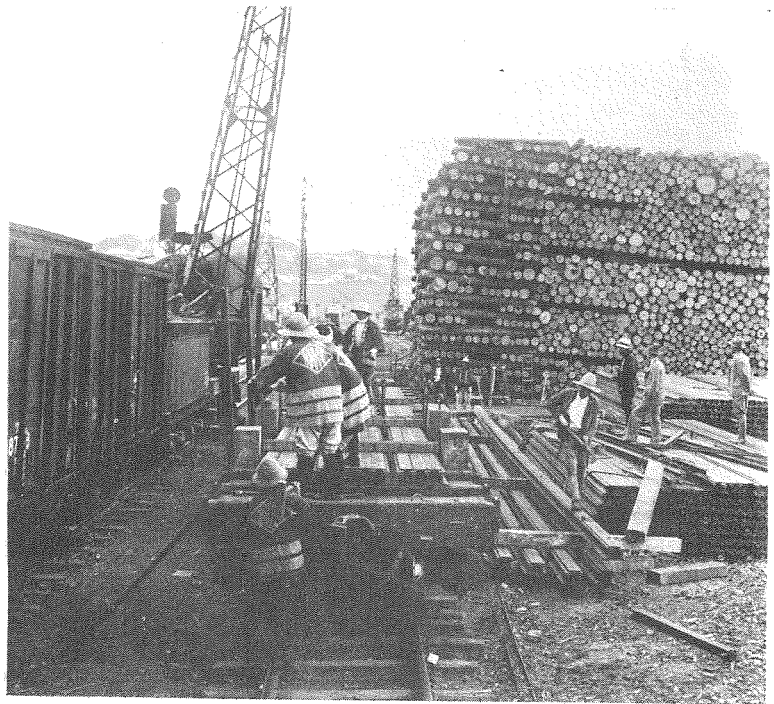
14 小樽築港驛で、舢から貨車へ24米37呎軌條5本束を積み込んでゐる。



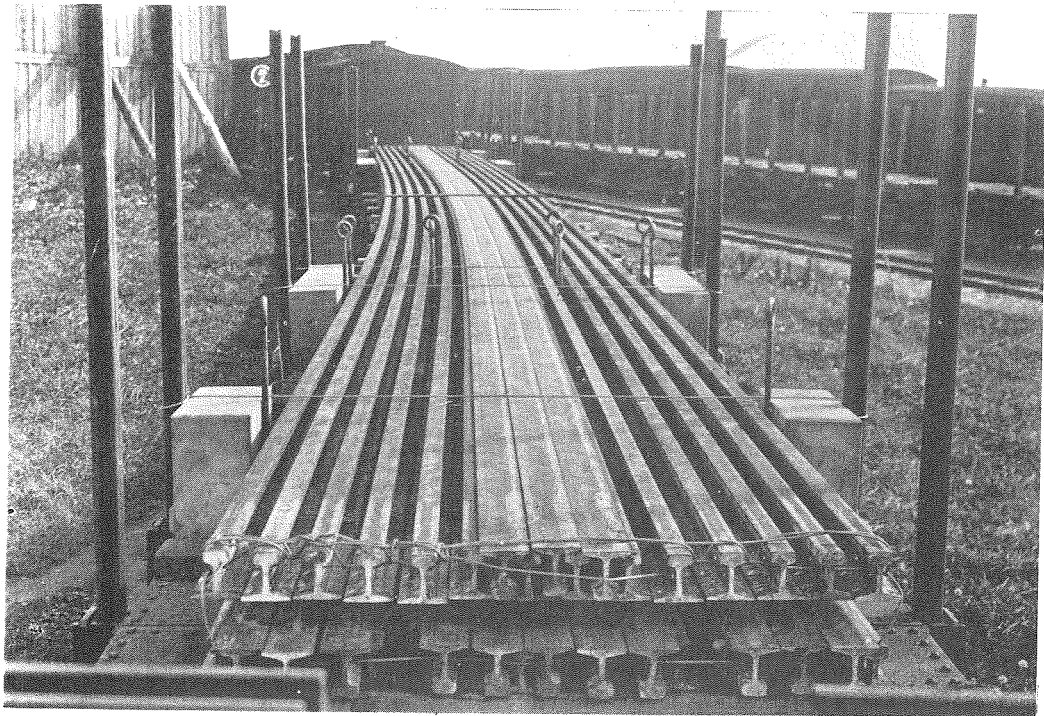
15 同上、舢から一旦地上のレール置場へ取卸してゐる。左方は10米軌條。



16 小樽築港驛で、一旦軌條置場に取卸した24米軌條を、更に貨車積としてゐる。



17 輸送途中の光景、曲線半径130米の箇所に於ける状況である。





18 函館本線深川妹背牛間に於ける取卸状況。一本卸す毎に24米だけ列車を移動し、小運轉小移動を全然省略して、敷設現場に取卸す。1本1分弱。



19 軌條更換の實況、片側の軌條から始めて今他の片側の軌條の接目を接続してゐる状況である。